JA秋田厚生連
大曲厚生医療センター

大曲厚生医療センターだより

2020.3
Vol.33
令和２年３月13日 発行

〒014-0027　秋田県大仙市大曲通町 8-65　秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療センター
TEL 0187-63-2111　FAX 0187-63-5406　URL http://www.okmc.jp　E-mail info@okmc.jp　発行責任者／中川拓

緩和ケア科

ごあいさつ

診療部長　秋山　博実

皆さんこんにちは。緩和ケア科の秋山です。わたくしは平成７年より当院に勤務しております。もとは麻酔科医で全身麻酔やペインクリニックを担当しておりましたが、平成 18 年からは緩和ケアチームの代表も務めております。チーム医師としてがんの患者さんと接するなかで患者さんは痛み以外にも様々な辛さを抱えていることを知りました。患者さんに対する緩和ケアに一層取り組む必要を感じ、病院の理解を得て平成 24 年に緩和ケア科を開設し、いまは緩和ケア科医師として働いています。皆さんにとり、緩和ケアはまだなじみが薄いかもしれません。この紙面をお借りしてがんと緩和ケアについてお話しいたします。

いま日本人の死因のトップはがんです。終戦直後は結核が死因のトップでしたが、抗生剤により結核で亡くなる方は急速に減りました。その後、結核に代わって脳卒中が死因のトップの時もありましたが、保健や医療の進歩により脳卒中で亡くなる方も減りました。その結果、平均寿命が伸びて高齢者が増えるとともにがんになる方も増え、約４０年前からがんが死因のトップとなりました。

死ぬときは『ぴんぴんころり』がいいとよく言われます。その理由は、人に迷惑をかけたくない、苦しんで死にたくないからとのことです。要介護の原因で多いのは脳卒中、認知症、衰弱、整形外科疾患で、がんの場合、要介護期間は約２か月です。辛さが無ければ、『ぴんぴんころり』はがんかもしれません。

緩和ケアとは、患者さんが自分らしい療養生活を送れるように、生命を脅かす病気に伴う体や心、生活上の様々な辛さを和らげる治療とケアを言います。がん治療が出来なくなってからではなく、治療中から必要に応じて緩和ケアを受けることで療養の質が保たれます。ご家族の不安にも配慮いたします。緩和ケアを受けた患者さんは受けなかった患者さんよりも療養の質が高いことが解っています。

当院には緩和ケアチーム、緩和ケア外来、緩和ケア病棟があります。緩和ケアチームのメンバーは医師、看護師、薬剤師、公認心理師、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカー、管理栄養士で、主治医や担当看護師と協力して一般病棟で緩和ケアを実施しています。チームの活動内容は、痛み、息切れ、吐き気など身体症状の緩和、不安、不眠、抑うつなど精神症状の緩和、治療、療養に関する悩みに対するご相談、療養場所の調整などです。

緩和ケア外来では患者さんが安心して自宅療養できるよう、症状、食事、睡眠などに問題がないか伺い、治療やアドバイスをさせていただきます。体調不良の時はいつでも病院へ連絡を頂くよう連絡方法を決めています。通院せずに自宅で緩和ケアを受けることもできます。まず、介護保険申請をしましょう。がんであれば介護保険給付は 40 歳からでも受けられる場合があります。ケアマネージャーを決め、必要な介護用品、介護サービス、訪問看護、ヘルパーなどご相談ください。往診医、訪問看護師は定期的に自宅へ訪問するほか、緊急時にも２４時間体制で対応しています。

緩和ケア病棟への入院の適応は、がん治療をしていない患者さんが、がんによる苦痛があり自宅療養が困難な場合です。詳しくは、主治医、看護師、医療福祉相談室（がん相談支援センター）へお尋ねください。緩和ケア病棟では症状緩和のほか、患者さんの希望に沿ってリハビリを積極的に行っています。

「がんになったら終わり」ではありません。一人で悩まず、ご家族や身近な医療者にご相談ください。

研修会

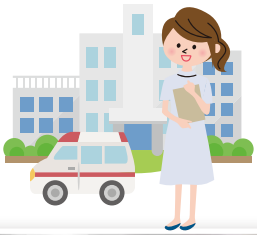
第18回介護保険施設職員対象の褥瘡研修会

令和元年10月26日土曜日の午前中、大曲厚生医療センター3階大会議室と2階リハビリ室で、大仙・仙北・美郷地区の看護師・訪問看護師対象に褥瘡研修会が開催されました。ここ数年は介護職員も参加していましたが、今回は褥瘡処置に関わる看護師を対象としました。参加人数は施設看護師23名、介護士2名でした。

院内からは褥瘡対策委員会と褥瘡委員会のメンバー17名が参加しており、皮膚科石河先生の開会挨拶から始まりました。講義は皮膚科新田先生「褥瘡発生要因と創傷治癒過程」、鈴木薬剤師「褥瘡の状態に合わせた軟膏処置」、三浦管理栄養士「栄養管理」。演習は褥瘡委員がグループのファシリテータとなり「スキンケアと処置方法」、高橋理学療法士と加藤作業療法士による「拘縮予防リハビリとポジショニング」、訪問看護管理者による「在宅でのケアの工夫」でした。

アンケートの結果から、講義・演習ともに「とても理解できた」から「理解できた」が90%以上でした。その内容として、「新たな処置方法や根拠を学ぶことができた」「看護師以外の方から話しを聞くことができた」という意見がありました。また、96%の参加者が研修会の継続を希望していました。今後も地域のニーズに沿った褥瘡研修会を継続していきたいと思います。

令和元年12月院内有病率は6.91%であり、全国平均2.4%に比べて高い数値でした。最近の傾向として、持ち込み褥瘡の多くは自宅が増えています。自宅で褥瘡予防ができること、褥瘡発生時に褥瘡外来を受診するなど褥瘡を相談する窓口がありますのでご利用ください。



令和元年度

接遇優秀職員紹介

大曲厚生医療センターでは、患者さんはじめ地域住民の皆さまへの「接遇」（ホスピタリティー）を重要項目と位置づけ、「利用者満足度アンケート」「接遇研修会」「接遇優秀職員の表彰」などの取組みを行い、接遇の向上に日々取り組んでおります。

今年度は、各部署（5部署）からの推薦により5名の接遇優秀職員が決定しました。

4階緩和ケア病棟 看護師
堀田　たえ子

あいさつから始まり、相手が話しやすいように声をかけることを心がけるようにしています。ちょっとした気配りで相手に親しみや信頼感を持ってもらえることを目標にしたいと思います。

外来Eブロック 看護師
髙橋　光子

接遇に対しご評価くださり、大変恐縮するばかりです。私の周りにはお手本とする職員が沢山います。良い職場環境にあってこそ心にゆとりが生まれ、皆で目指す接遇に繋げていけるのだと思います。

7階西病棟 看護補助員
信田　利江

この度は貴重な賞を頂き光栄に思い、身を引き締めて業務に取り組んでいます。私自身、明るい職場があってこそ、患者様にも笑顔で接する事が出来ていると思っているので、今後も周りの皆様に感謝し、笑顔で頑張りたいと思います。

臨床検査科 検査補助員
鈴木　直美

この度は接遇優秀職員に選んで頂き、ありがとうございます。私は採血・採尿の受付業務をする際、明るい挨拶と笑顔で患者様に応対する事を日々心がけています。これからも継続して心がけていきたいと思います。

訪問看護ステーション 看護士
池田　知美

不安な気持ちで来院された方が和やかな気持ちになれるような態度を意識して接するように心がけています。今後も病院の顔として見られている意識と接遇向上の意識を持って対応していきたいと思います。

ベンチ贈呈式

この度、県立大曲農業高校様と県立大曲技術専門校様より、両校の生徒が制作したベンチを寄贈していただきました。高齢者や体の不自由な人に使ってほしいとのことから、当院へベンチ３脚をご寄贈いただき、12月2日に贈呈式が行われました。

式典には、ベンチの制作に携わった両校の生徒の皆様にご来院いただきました。生徒さんが協力して作ってくださったベンチを大切に活用させていただきます。

れんけい室タイムズ

FACE TO FACE

Vol.27

▲ 研修会風景

室長あいさつ

副院長（外科）
小野　文徳

今年の冬は異常なほどに降雪量の少ない日が続いています。夏季の豪雨の増加とともに、確実に気象状況が変化しているのがわかります。雪が少ないことは除雪の手間を考えると歓迎すべきことですが、変化に対して恐怖感を感じてしまうのは人間の性でしょうか。

恐怖といえば，新型コロナウイルスが大きな話題となっており、こちらは歓迎すべき点が一つもありません。日本国内に拡がらないこと、そして、東京オリンピックまでには収束してくれることをひたすら祈っています。

第16回れんけいのつどい

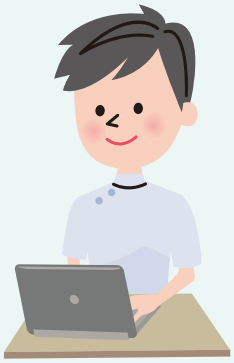
「第16回 れんけいのつどい」が、令和元年11月6日に開催されました。

研修会136名、懇親会106名と多くの方々にご参加いただき、盛会裏に終えることができました。ありがとうございました。

研修会は、「腰椎疾患の診断と治療」について診療部長（整形外科）阿部利樹先生からご講演いただきました。身近な疾患についての内容でしたので興味深く聞かせていただきました。

懇親会では、先生方にご挨拶させていただいた際も貴重なご意見をいただくことができ、また、普段は用紙や電話でのやりとりなので、「ぜひお会いしてご挨拶したい」という先生もおり、顔の見える連携ができ有意義な時間になったと思います。

今後もよりよい病診連携をめざしていきたいと思います。



▲ 院長　三浦雅人先生

▲ 診療部長（整形外科）
阿部利樹先生

▲ 大曲仙北医師会
会長　池田芳信先生

▲ 副院長 仁村隆先生

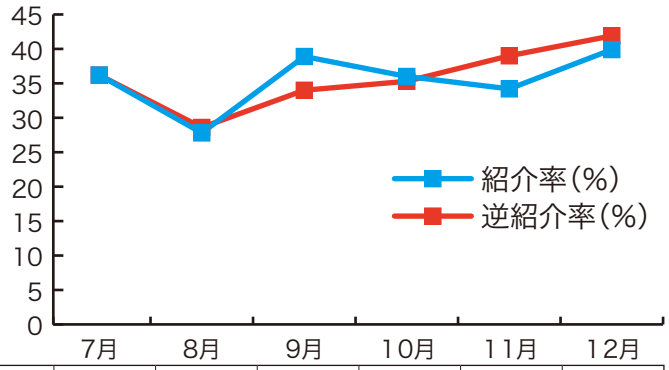
大曲仙北医師会 ▲
副会長 黒澤尚先生

▲ 懇親会風景

実績報告

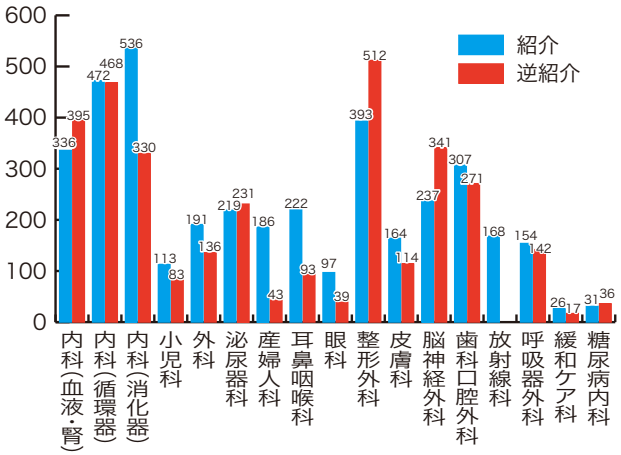
いつも、患者様をご紹介いただきましてありがとうございます。
令和元年7月～12月までの紹介・逆紹介患者科別件数と、紹介率・逆紹介率の推移を載せております。平均紹介率は35.3%、逆紹介率の平均は35.7%でした。
症状が安定した方は「かかりつけ医」への紹介（逆紹介）をさせていただき、引き続き診療を行っていただいております。

紹介率・逆紹介率推移
令和元年7月～12月



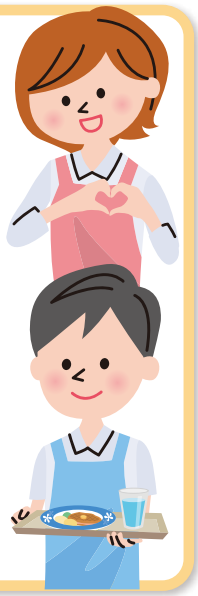
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
紹介率(%)	36.2	27.8	38.9	36.0	34.2	39.9
逆紹介率(%)	36.2	28.6	34.0	35.3	39.0	41.9

紹介・逆紹介患者科別件数（単位=人）
令和元年7月～12月



ためになる話

リハビリテーションと栄養



リハビリテーションを行う上で注意しなくてはいけないことが栄養状態です。

元気になるために実施されるリハビリテーションですが、そのためには十分な栄養が必要です。栄養状態が良くないと筋肉量を増やすための運動がさらなる栄養状態の悪化を招いてしまう可能性があり、かえって筋肉量を減らしてしまう結果となってしまいます。

病気などで寝たきりになってしまい日常生活動作が自分で行えなくなってしまった場合、リハビリテーションを行い筋力や体力をつける訓練を行いますが、その中の88%に低栄養を認めたことが報告されています。また低栄養状態が認められた場合、日常生活動作の向上が得られにくく、栄養状態が改善した患者では日常生活動作が向上するとの報告もあります。

低栄養の原因は３つに分かれます。①手術、外傷、感染症など急性の炎症によって低栄養が生じる場合②がん、慢性閉塞性肺疾患、慢性心不全、慢性肝不全など慢性的な炎症によって低栄養が生じる場合③エネルギー摂取量がエネルギー消費量より少ない状態が続くことによって生じる場合です。以上の原因により、BMI（体重kg÷（身長m）^{2}）が18.5未満の場合や、体重減少率（%）が１週間に２%以上、１ヶ月で５%以上、３ヶ月で7.5%以上の場合などが低栄養状態と言えます。いずれの原因の場合でも、一概に栄養が少ないから普通より多く食事を取れば良いということではなく病気の影響を考慮して、状態に合わせた適切な栄養管理とリハビリテーションが必要になります。

特にリハビリテーションを行う上で必要なものとしては、筋肉合成に必要なエネルギーとたんぱく質です。運動後にたんぱく質と糖質を摂取すると筋肉の合成が促進されると言われています。また、一度に多くの食事が取れない場合は栄養補助食品を上手に使って栄養補給を行うのも有効的です。適切な栄養を取り適度な運動を行うことで栄養状態の改善や動作の向上に繋がるでしょう。

外来診療担当医一覧

令和２年３月１日現在

診療科	月	火	水	木	金	受付時間等
内科（血液・腎）	仁村　隆	秋田大学	仁村　隆	茂木　睦仁	仁村　隆	8:30～11:00 糖尿病外来予約制（火・木・金）
	長谷川　諒	茂木　睦仁	井上　武	山下　鷹也	長谷川　諒	
	腎臓病外来 小澤　政豊		秋田大学	腎臓病外来 小松田　敦		
		糖尿病外来 大友瞳・高橋和之（隔週交互の診察）		糖尿病外来 大友　瞳	糖尿病外来 高橋　和之	
内　科（循環器）	小武海雄介	鎌田ななみ	秋田大学	鎌田ななみ	小武海雄介	新患診療8:30～11:00
			ペースメーカー外来（高橋陽一郎）	高橋陽一郎		
		呼吸器・アレルギー（秋田大学）			呼吸器・アレルギー（秋田大学）	火13:00から　予約制 金11:00まで　予約制
			心臓血管外科（秋田大学）			8:30～11:00　予約制
内　科（消化器）	沖口　将夫	三浦　雅人	小野地研吾	沖口　将夫	肝外来　三浦　雅人	8:30～11:00
	小野地研吾	沖口　将夫	秋田大学	堀井　享	堀井　享	
					☆菅原正伯	☆神経内科　完全予約制
糖尿病内科	工藤　宏仁		工藤　宏仁			8:30～11:00　予約制
小児科	小山田　遵	五十嵐希世志（10:30から）	小山田　遵	五十嵐希世志	中川　惟	8:30～11:00
	大村　映子	大村　映子	中川　惟	大村　映子	大村　映子	
	小山　勝幸	中川　惟	小山　勝幸	☆神経外来　矢野珠巨	小山　勝幸	☆8:30～11:00　予約制
				小山田　遵	☆心臓外来　秋田大学	☆第1･3(金)予約制13:30～
外　科	小野　文徳	荒木　孝明	平野　直大 佐藤　将大	小村　俊博	谷口　肇	8:30～11:00 (木) 腫瘍内科(秋田大学)
呼吸器外科	中川　拓	手術日のため休診	中川　拓	手術日のため休診	中川　拓	8:30～11:00
	栗原　伸泰		栗原　伸泰(1週目) 細野由希子(2週目から)		栗原　伸泰	
	出村　遼		出村　遼		出村　遼	
泌尿器科	熊澤　光明	神崎　正俊	熊澤　光明	熊澤　光明	神崎正俊・灘岡純一（隔週交互の診察）	8:30～11:00
	髙橋　佳子	灘岡　純一	灘岡　純一	神崎　正俊	髙橋　佳子	
産婦人科（婦科）	長尾　大輔	山本　博毅	岩澤　卓也	山本　博毅	長尾　大輔	8:30～11:00
産婦人科（産科）	山本　博毅		長尾　大輔	岩澤　卓也	山本　博毅	
耳鼻咽喉科	垂石　羊司	垂石　羊司	垂石羊司(第1･3･5) 佐藤輝幸(第2･4)	垂石　羊司	応援医師	8:30～11:00
	佐藤　輝幸	佐藤　輝幸	応援医師	佐藤　輝幸		
整形外科	阿部　利樹	阿部　利樹	阿部　利樹	嘉川　貴之	嘉川　貴之	8:30～11:00
	嘉川　貴之	鈴木　真純	井野　剛志	長幡　樹	鈴木　真純	
	長幡　樹					
皮膚科	石河　軌久	石河　軌久	石河　軌久	秋田大学	新田　悠介	8:30～11:00（火・金）予約制
	新田　悠介		新田　悠介	石河軌久／新田悠介		
脳神経外科	大前　智也	柳澤　俊晴	柳澤　俊晴	大前　智也	大石　渉(第1・3) 猿田和貴子(第2・4・5)	8:30～11:00
	柳澤　俊晴	猿田和貴子	大前　智也	柳澤　俊晴	大前　智也	8:30～10:00
緩和ケア科	秋山　博実		秋山　博実	秋山　博実		完全予約制
眼　科	髙橋　永幸	秋田大学	髙橋　永幸	秋田大学	髙橋　永幸	8:30～11:00
放射線科		安倍　明			安倍　明	9:00～11:00完全予約制
歯科口腔外科	鈴木　靖子	手術日	鈴木　靖子	鈴木　靖子	鈴木　靖子	・完全予約制 ・初診の方は紹介状必要 ・急患は必ず電話連絡必要 (火)急患受付致しません
	山崎　雅人		山崎　雅人	山崎　雅人	山崎　雅人	

※土・日曜日と祝祭日は全科休診です